

日本物理学会領域2役員会 議事録

日時: 2017年11月21日(火) 18:30-20:00:30

場所: 姫路市商工会議所 5F 503

司会: 領域2代表 政宗

出席者: 政宗, 洲鎌, 藤田, 森田, 後藤, 西浦, 高橋, 蔵満, 大館, 白石, 森, 菊池, 蓮尾, 大島

書記: 大島

報告事項

1. 福井大学遠赤外領域開発研究センターのネットワーク型共同利用・共同研究拠点申請について(齊藤輝雄)

・齋藤先生より資料に基づいて説明があった。今後、福井大学遠赤センターの高出力遠赤外光源技術と神戸大学分子フォトサイエンス研究センターの極限分子計測技術を基盤とし、「高出力遠赤外光・分子物質科学研究拠点」(ネットワーク型)として拠点認定を目指す。平成30年度の応募を目指す

・研究拠点申請にあたり、コミュニティからのサポート・申請要請が必要であるが、領域2として物理学会から独自にサポートレターは発行できない。

2. 2017年10月からの新役員体制と役割分担の確認

役員 大館暁(核融合研)

役員 白石淳也(量研機構)

役員 森芳孝(光産業創成大)

3. 2018年4月からの領域代表、副代表

領域2メール審議にて承認済

10/30 物理学会大会大会担当あてに推薦書提出、

11/14 領域委員会において承認された

次期領域代表 洲鎌英雄さん(核融合科学研究所)

次期領域副代表 藤田隆明さん(名古屋大学)

3. 学生優秀発表賞受賞者報告

○川本靖子（九州大学工学府）

核燃焼プラズマにおける γ 線生成反応を用いたノックオンテイルの形状評価

○白戸高志（東北大学大学院工学研究科）

構造保存型オペレータに基づく電磁粒子シミュレーションにおける数値加熱の排除法 I

○高橋典男（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

磁気圏型プラズマ実験装置 RT-1 におけるコヒーレンス・イメージング法による

ホリスティックなイオン温度・流速解析

○松井隆太郎（京都大学大学院エネルギー科学研究科）

相対論的透明化領域におけるクラスター内無衝突衝撃波による 290 MeV

準単色プロトン加速

*30名の応募があり、そのうち4名を選出

前回は21名の応募あり

4. 若手奨励賞（2018年）受賞者報告

(1)前山伸也・名古屋大学大学院理学研究科助教

研究題目 電子・イオンスケール乱流間のマルチスケール相互作用に関する研究

(2)文贊鎬（Moon, Chanh）マックス・プランクプラズマ物理学研究所研究員

研究題目 磁化プラズマ中電子温度勾配不安定性の研究

2018年秋季大会から、物理学会としての賞となる見込み。

理事会の意向で、副賞は出さない。

5. 2018年第73回年次大会企画講演・シンポジウム提案

以下、すべてメール審議にて承認済

・企画講演

1. 招待講演 村上定義（京大）

「重水素プラズマにおける高エネルギー粒子による核融合反応率の

シミュレーション予測と実験結果との比較検証：LHD 重水素実験から」

2. 若手奨励賞受賞記念講演

・シンポジウム提案

1. プラズマ宇宙物理学3学会合同シンポジウムー地上実験室から惑星・ブラックホールまでー

鳥海森 (国立天文台)、成行泰裕 (富山大)、吉岡和夫 (東大)、當真賢二 (東北大)、塩川和夫 (名大)、稲垣滋 (九大)

2. シンポジウム「突發現象の科学」

草野完也 (名大)、海老原佑輔 (京大)、居田克巳 (核融合研)、高安秀樹 (ソニー/東工大)、坪木和久 (名大)、小屋口剛博 (東大)

3. シンポジウム「境界・層 (boundary interlayer)が織り成す多様な物理
～宇宙から実験室プラズマまで」

高橋和貴 (東北大)、中平武 (高エネ研)、畑山明聖 (慶応大)、鈴木宏二郎 (東大)、柏木美恵子 (量研機構)、天野孝伸 (東大)

6. 学生優秀発表賞実施要綱案に関して

- ・現在の審査方法・手順を踏襲、理事会に提出予定。
- ・理事会より、副賞は認められないとのこと。
- ・現在の審査要綱は、始めてからの変遷があった結果、実態に即していないのではないかとの指摘があった。
- ・ある程度各領域に裁量を任せられる内容の文面で、若干修正・追加し提出する予定。追加・変更点等、メール審議する予定。
- ・もし理事会からさらに修正指示があった場合は、領域2MLでのメール審議で対応する方針。

7. 今回のPLASMA2017での学生優秀発表賞の混乱について

- ・PLASMA2017事務局側から運営について抗議があるようなので、状況を確認する。
- ・物理学会での採点取り纏めは、物理学会側で対応。最終日15:00から役員が集まり集計。
- ・従来からのスタイルに則り、物理学会は表彰を現地でしない。Webでの受賞者公示のみ。

8. 日本学術会議の報告

九大藤澤先生より資料提供、政宗さんが資料をもとに説明。

9. AAPS-DPP活動報告

- 菊池先生より資料に基づいて説明があった。
- 第一回年会が開催された（招待225名、口頭79名、ポスター100名）。
- 次回金沢にて2018 11/18-23 第二回年会。現地実行委員会上杉先生
- APS-DPP とEPS-DPP連携として、プログラム委員が相互に入っている。
- 今後、領域2として可能な形でのサポートを要請された。

10. その他

10-1 領域2 講演数の推移について報告があった。

10-2 Plasma ML 加入方法の確認

10-3 領域2 懇親会、2018年度年次大会でも実施予定。西浦さんより担当者を指名。

10-4 2018年度物理学会（全体）の懇親会を実施する予定、100名規模想定（東京理科大食堂）

以上